

老健といがた

第26号

2009. 10 Vol. 26



第20回全国介護老人保健施設大会新潟 特集号

目次

巻頭言	1
寄稿 「第20回全国介護老人保健施設大会新潟」 特集号によせて	2
特集 第20回全国介護老人保健施設大会新潟 老健が創る新文明 ～トキめく長寿社会をめざして～	3～13
研修取材報告 「バリデーションセミナーの伝達講習」	14
協会だより	15～16
老健と私	17～18
みんなの広場・編集後記	19



巻頭言



新潟県介護老人保健施設協会

理事 樋 熊 紀 雄

第20回全国介護老人保健施設大会新潟は、去る平成21年7月22日・23日・24日に新潟市の朱鷺メッセを主会場とし、「老健が創る新文明、～トキめく長寿社会をめざして～」大会テーマの下に節目第20回大会として開催され、これから介護老人保健施設の方向性を示し盛会裡のうちに閉幕しました。全国は北海道から沖縄まで、4,800余名の会員の参加があり、記念講演会、シンポジウム、鼎談などに参加者は熱心に聞き入っておりましたが、一方日常業務の中で取り組んできた発表は、一般演題1,070余題、中でも主催する新潟県支部内からの発表が90題以上でした。各演題とも活発な討論が行われそれが貴重な報告であり明日からの業務に大変参考になるものと思われます。

スムーズな大会運営には、大会関係各位の大変なご苦労と共に、この大会のために貴重な職員の派遣にご協力いただいた会員施設に感謝申しあげます。

さて、平成21年4月には、3年に1度の介護報酬の改定がおこなわれました。政府は、平成20年秋緊急経済対策の中に「介護従事者の待遇改善と人材確保のため、平成21年4月には介護報酬を3%引き上げる」という項目を盛り込み、「介護現場で働いている人の月給が2万円くらい上がるかなという感じです」とコメントがされました。通常介護報酬の増減は、介護従事者の給与や待遇に直結するものと考えられますが、介護報酬の引き上げが介護従事者の待遇改善に繫がっていない、繫がらないという現場からのご意見が聞かれます。それは、介護報酬は、平成12年4月に介護保険制度が始まって以降、その後2回の引き下げで（平成15年2.3%、平成18年2.4%）4.7%引き下げられています。そのた

めに今回の3%の引き上げでは制度発足時に戻らないという状況です。ましてや3年後の改定ではまた引き下げもと考えると、そう簡単には職員の給与アップには踏み切れないということでしょうか。

一方で今回の介護報酬の引き上げは、利用者にとってはサービスの値上げを意味し、利用総額が支給限度額を超えると超過料金が発生する。結果施設の収入は変わらず、減収にもなりうる事態も起こります。更に今回の介護報酬には、「加算」という仕組みがあり、「このようにすれば高い報酬を受け取れますよ」という高いハードルを設定したものであり、サービス提供側、受ける側共に負担の掛かる改定となったのではないでしょうか。会員各位は如何お考えですか。

介護保険サービスをどれだけ受けられるかを決める「要介護認定」基準が4月に改定されました。従来より受けるサービスが減る人が増えたとする意見には、厚労省はその影響を調べた結果、「非該当」と軽度（要支援1.2、要介護1）と認定された人は全体の53.6%、一方で中・重度（要介護2～5）の人の割合が減り、改定後は軽く判定される傾向が指摘されました。介護保険のアップ抑制のためとはいえ、近々大幅な項目の修正が行なわれることになりそうです。普段から机上のシミュレーションではなく現場に足を運んで評価体制を作成しないと朝令暮改、厚労省の姿勢が問われているのではないでしょうか。

待ちに待った衆議院議員選挙が行なわれました。新しい政治が、年金、医療、介護分野に温かい光を当ててくれることを念願します。

「第20回全国介護老人保健施設大会新潟」 特集号に寄せて

新潟県介護老人保健施設協会

会長 田中政春



第20回全国介護老人保健施設大会新潟は来賓等を含め4,875名の参加者のもと盛大かつ成功裏に終了し、次回の岡山大会へ大会旗を引き継ぎました。

新潟県からは口演95題、ポスター10題が発表されました。

大会期間中全国的には山口県や北九州地方で水害があり大変でしたが、新潟は天候に恵まれ大会は予定どおりに進行出来ました。

振り返りますと第20回全国大会は、平成17年11月10日の第10回全老健常務理事会で関東甲信越ブロックにおいて開催されることが決定され、平成18年2月22日の関東甲信越ブロック支部長会の議を経て、新潟県支部が担当することに決定されました。以後7委員会を設置し委員長には新潟県支部理事の先生方にお願いし、作業を分担し計画し、実行していただきました。各委員会間の調整は委員長会議と事務局が担当しました。

エージェントの選定は、平成19年8月9日に朱鷺メッセで説明会を開催し、入札の結果日本旅行と新潟コンベンションサービスに決定しました。

大会テーマは平成19年12月5日の委員長会議で正式に決定し、「老健が創る新文明～トキめく長寿社会をめざして～」になりました。平成20年正月から各委員会の協議が本格的に開始され準備が始まりました。京都大会では出雲崎町特産の紙風船を配布し、新潟大会への参加をお願いしました。

大会長招宴は、華美との批判を覚悟で行形亭

を使用し、新潟情緒を楽しんでいただき大変喜ばれました。10年20年と語り継がれるならばそれだけの価値があったと思います。

大会長挨拶で新潟が開港140周年であり、朱鷺を復活させ放鳥したことを紹介し、日本古来の美德である敬老精神を復活させ、長寿社会の基本理念にすることを提唱いたしました。

パネルディスカッションおよびシンポジウムで介護職員の処遇改善や老健の進路につき討論しました。

開催直前に、衆議院の解散が決定し与野党とも介護職員の給与を改善することを公約しています。どのような形で給与の底上げがなされるのか不透明な点が多くありますが、この特集号が皆様の手元に届く頃には、政権政党が決まり、詳細がより明らかになるものと思います。

今大会では、全老健が実施した各種調査研究事業を発表するコーナーを設けました。

また、新潟大学脳研究所のご協力を得て、認知症（アルツハイマー型、前頭・側頭型、レビー小体型、皮質・基底核変性症）の脳病理標本を供覧し、臨床症状と脳病理所見とを対比していただき、認知症の基礎を理解していただくコーナーを設営しました。

新潟県支部はどんな大きな大会にも対応出来ることが証明され、大会に関係された皆様の自信と財産になったものと思います。

最後に全国からの参加者に喜ばれた大会を企画し、運営してくださいました会員および会員施設職員の長期に亘るご協力に衷心から感謝申し上げます。

平成21年7月22日(水)・23日(木)・24日(金)の3日間、新潟市の朱鷺メッセ・ホテル日航新潟・ANAクラウンプラザホテル新潟を会場に、第20回全国介護老人保健施設大会新潟が開催されました。

老健が創る新文明～トキめく長寿社会をめざして～をテーマに掲げ、全国から4,875名が参集しました。



▲朱鷺メッセ・ホテル日航新潟

ANAクラウンプラザホテル新潟▶

7月22日(水)

・・・第1日目・・・

12:25~17:00 第3回社団法人全国老人保健施設協会医療研究会 会場：朱鷺メッセ2階スノーホールA

【テーマ】「老健に求められる医療」

教育講演「高齢患者の診察のコツ」

講師：鳥羽 研二

(杏林大学医学部高齢医学 教授・もの忘れセンター長)



指定講演（全老健研究事業の取り組み）「平成20年度研究事業報告」

講師：江澤 和彦（社団法人全国老人保健施設協会 理事）

シンポジウム「介護老人保健施設と地域医療連携」

座長：江澤 和彦（社団法人全国老人保健施設協会 学術委員長）



シンポジスト：①小崎 武

(老人保健施設星ヶ丘アメニティクラブ 医師)

江澤和彦先生

②天本 宏（あい介護老人保健施設 理事長）

③稻川 利光（NTT東日本関東病院 リハビリテーション科部長）

④高椋 清（社団法人全国老人保健施設協会 副会長）



シンポジスト（右から 高椋先生、稻川先生、天本先生、小崎先生）

12:55~18:00 研修会 会場：朱鷺メッセ2階・3階・4階

1. 【現場での認知症ケア】

講義「認知症高齢者のケアについて」

講師：遠藤 英俊

(国立長寿医療センター包括診療部長)

講義①「認知症患者 初級編」

②「認知症患者 中級編」

講師：佐藤 龍司

(社団法人全国老人保健施設協会 研修委員会委員)

グループワーク①「認知症患者 初級編」

②「認知症患者 中級編」

司会・進行：佐藤 龍司（社団法人全国老人保健施設協会 研修委員会委員）

チーフター：高橋 明（社団法人全国老人保健施設協会 認知症部会長）

田中 志子（社会福祉法人久仁会大誠会 老健担当理事）



研修会の模様

2. 【リハビリテーション】

講義「エビデンスに基づく認知症のリハビリテーション」

講師：金澤江吏子

(介護老人保健施設鴻池荘 作業療法士)

シンポジウム：「制度改定後の認知症リハビリテーションとケアの協業」

座長：野尻 晋一（社団法人全国老人保健施設協会 リハビリテーション部会員）

① 認知症短期集中リハビリ（施設）

石井 利幸

(介護老人保健施設ひもろぎの園 作業療法士)

② 認知症短期集中リハビリ（施設）

宮内 順子

(介護老人保健施設べあれんと 作業療法士)

③ 認知症短期集中リハビリ（通所）

土井 勝幸

(介護老人保健施設せんだんの丘 施設長)

④ 認知症ケアと協業N Sの立場から

河原 順子

(公立みづき総合病院介護老人保健施設「みづきの苑」 看護師長)

⑤ 認知症ケアと協業C Wの立場から

田村みどり

(認知症介護研究・研修仙台センター)

3.【高齢者ケアプラン策定実践講座】

～全老健版「老健のための全く新しいケアマネジメントプログラム」～
「ケアプランの意義」
 講師：折茂賛一郎（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会長）
「インタークについて～援助についての初めての相談～」
 講師：安藤 繁（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会員）
「アセスメントとモニタリングについて」
 講師：大河内二郎（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会員）
「チームアセスメントについて」
 講師：千葉 喜弘（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会員）
「ケアカンファランスの実践のコツ」
 講師：山田 剛（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会員）
「ケアプランの周知と実施記録」
 講師：松浦美知代（社団法人全国老人保健施設協会 施設ケアマネジメント部会員）

4.【摂食・嚥下・栄養】

「摂食・嚥下障害の考え方について」
 講師：館村 卓（大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座准教授）
「摂食・嚥下障害のリハビリテーション・ケア～要介護高齢者へのアプローチを中心に～」
 講師：本間 達也（社団法人全国老人保健施設協会理事）
「口腔機能の向上について」
 講師：菊谷 武（日本歯科大学附属病院准教授 口腔介護・リハビリテーションセンターセンター長）
「ソフト食の活用方法について」
 講師：黒田留美子（潤和リハビリテーション診療研究所主任研究員）

7月23日(木)**・・・第2日目・・・**

交通の玄関口となる新潟駅及び新潟空港で、スタッフがお出迎えました。

スタッフはグリーンのポロシャツを着て応対しました。



新潟駅前で参加者をお出迎え



クローケの模様



受付の模様

9:00~10:30 開会式・表彰式 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA



はじめに、松田ひろし大会副会長が第20回全国介護老人保健施設大会新潟の開会宣言を皮切りに、田中政春大会会長が大勢の方から参加いただいたお礼と、大会テーマについて「未来に向けてときめく、胸躍る社会を創りたいという思いが込められている。」と説明。また、地酒をはじめ港町新潟を満喫してほしいと挨拶。次に主催者を代表して全老健の川合秀治会長が挨拶。次いで来賓の方々から、これから福祉社会について、今大会の期待を込めた祝辞が述べられました。更に来賓紹介と祝電披露が行われた後、平成21年度介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰、平成21年度全国老人保健施設協会会長表彰、第19回全国介護老人保健施設大会京都大会演題発表優秀奨励賞の授賞式が執り行われました。



松田ひろし大会副会長



田中政春大会会長



川合秀治全老健会長



鈴木康裕様
(厚生労働省老人保健課長)



泉田裕彦様
(新潟県知事)



篠田 昭様
(新潟市長)



三上裕司様
(日本医師会常任理事)



斎藤十朗様
(全国社会福祉協議会会长)

10：30～12：00 特別講演 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

特別講演

「地域包括ケアと今後の老人保健施設」

講師：鈴木 康裕 先生（厚生労働省老人保健課長）

座長：川合 秀治 先生（社団法人全国老人保健施設協会 会長）



講師：鈴木康裕先生

大会開催前の中国・九州北部豪雨災害に伴い、当初講師を予定していた宮島俊彦氏（厚生労働省老健局長）が公務で出席できず、急遽、鈴木康裕氏が講師を務めました。

冒頭で、15年20年後の社会保障を作っていく上で、この1～2年でどう決断するかが重要であり、日本の財政や介護の現状を説明。

また、老健のあり方については、「医療から介護まで、施設から在宅支援まで、幅広く支えられる施設は老健の他にない。」とし、有料老人ホームや高齢者専用賃貸住宅の併設や、通所リハビリに合わせ訪問看護や訪問リハビリなど、在宅を支える医療サービスについても、老健に中心的な役割を果たしてほしい。看取りについても大きな課題になると述べていました。

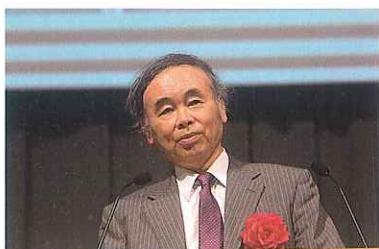
13：00～14：00 記念講演 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

記念講演

「これからの日本と年寄りの役目」

講演者：藤原 正彦 先生（お茶の水女子大学名誉教授・数学学者・作家）

座長：松田ひろし 先生（新潟県介護老人保健施設協会 副会長）



講演者：藤原正彦先生

「國家の品格」の著者で有名な藤原先生が、今大会の記念講演を行いました。冒頭で、ここ15年の世の中の改革で、あらゆる面で日本が壊されたことを説き、21世紀のキーワードとして「惻隱」がなくてはならないと述べられました。

美的感受性は日本のお家芸であり、自然に跪き手を合わせるという謙遜な考え方、望郷精神、家族愛・郷土愛・祖国愛を後世に教えていかなくてならないが、親が子供に教えるよりも、年寄りは有限の人生を誰よりも感じ、情緒が研ぎ澄まされており情緒教育に優れている。論理・合理・理性を尊重して美しい情緒を形に加えることで、日本だけでなく世界や人類を救うと話しを締めくくりました。

今の日本の問題を鋭く、時には辛口に表現されていましたが、示唆に富んだ話でした。

14：15～15：45 パネルディスカッション1 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

パネル
ディスカッション

「高齢者の尊厳を守る夢ある職場」

- 座長：漆原 彰 先生（社団法人全国老人保健施設協会 名誉会長）
 パネリスト：新島 良夫 先生（財団法人介護労働安定センター理事長）
 沖藤 典子 先生（ノンフィクション作家）
 平川 博之 先生（社団法人全国老人保健施設協会 研修委員会）
 多田 良 先生（介護老人保健施設グリーンヒル与板 介護総括主任）



座長：漆原 彰先生



パネリストの方々
(右から新島先生、沖
藤先生、平川先生、
多田先生)

16：00～18：00 シンポジウム 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

シンポジウム

「長寿社会は老健に何を求めるか」

- 指定発言：水野 肇 先生（医事評論家）
 座長：川合 秀治 先生（社団法人全国老人保健施設協会 会長）
 シンポジスト：鈴木 康裕 先生（厚生労働省老健局 老人保健課長）
 三上 裕司 先生（社団法人日本医師会 常任理事）
 樋口 恵子 先生（NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長）
 木村 隆次 先生（一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長）
 飯野奈津子 先生（NHK報道局取材センター生活情報部 部長）



指定発言
水野 肇先生



座長
川合秀治先生



シンポジスト
の方々
(右から
鈴木先生、
三上先生、
樋口先生、
木村先生、
飯野先生)

福祉機器展示 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールB

53社が福祉機器の展示出展。熱心な説明に聞き入り、会場は大盛況でした。



物産展・書籍販売

新潟土産にたくさんの店が出店。
書籍販売も並び、大変賑わっていました。



全老健 研究事業展示コーナー

全老健が取り組んだ「平成20年度事業研究事業報告」を、パネルで展示。



認知症脳教育コーナー

新潟大学脳研究所から、脳に関する研究事業についてパネル展示と顕微鏡標本を見る事ができました。



本大会の会場が分散開催のため、各会場間を結ぶシャトルバスを運行。



次回大会の岡山県支部の方々が、岡山大会をPR。



18：30～20：30 懇親会 会場：ANAクラウンプラザホテル新潟3階・飛翔



7月23日（木）18：30～ANAクラウンプラザホテル新潟3階・飛翔を会場に、800名以上の方が参加しました。

上田五十騎の皆さんのが鎧兜を身にまとい、会場内を練り歩きました。また、柏崎民謡保存会による歌と踊りが披露され、宴会に華を添えました。

料理と飲み物に舌鼓を打ち、和やかに交流を行いました。

写真左：全老健川合会長の挨拶

写真右：馬場大会副会長が閉会挨拶



大勢の方が和やかに歓談



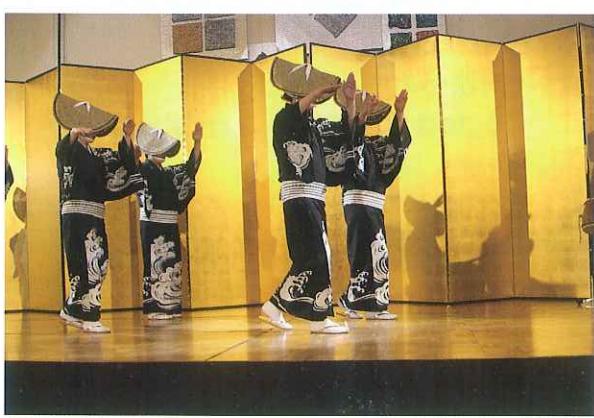
美味しい料理と飲み物に長蛇の列



上田五十騎の方々による余興、太鼓と鎧兜を身にまとい会場内を練り歩く



柏崎民謡保存会の方々による歌と踊りの披露



共催ランチョンセミナー

7月23日・24日の12:10~12:50、全8つのランチョンセミナーが開催されました。

<7月23日(木)>

セミナー1

「震災と介護施設」

講演者：村山 良雄 先生
(北海道厚生連 摩周厚生病院 外科部長)
「7.13水害及び中越沖地震での老健の対応－看護・介護職員を中心に－」
講演者：山岸恵美子 先生
(介護老人保健施設米山爽風苑 総師長)
共 催：有限会社全老健共済会

セミナー2

「気づきを生かしたケア・業務改善」

講演者：影山 優子 先生
(西武理大学 サービス経営学部 健康福祉マネジメント学科 専任講師)
座 長：赤枝 雄一 先生
(介護老人保健施設グリーンリーブズ赤枝 理事長)
共 催：マルゼンメディ・ケア株式会社

セミナー3

「高齢者の水・電解質管理～転ばぬ先のつえ、経口補水療法のすすめ～」
講演者：井藤 英喜 先生
(東京都健康長寿医療センターセンター長)
座 長：川合 秀治 先生
(介護老人保健施設竜間之郷 代表者)
共 催：株式会社大塚製薬工場

セミナー4

「身体疾患とうつ
～高齢者のうつ病を中心に～」

講演者：村松公美子 先生
(新潟青陵大学大学院 臨床心理学科研究科 教授)
座 長：手束 昭胤 先生
(介護老人保健施設喜久寿苑 代表者)
共 催：ファイザー株式会社

<7月24日(金)>

セミナー5

「認知症の薬物療法
～有用性とその限界～」

講演者：梅垣 宏行 先生
(名古屋大学大学院医学系研究科 老年科学 助教)
座 長：福島 昇 先生
(新潟市こころの健康センター所長)
共 催：エーザイ株式会社、
ファイザー株式会社

セミナー6

「脳のしくみと病気
～とくに認知症について～」

講演者：高橋 均 先生
(新潟大学脳研究所病理学分野 教授)
座 長：高椋 清 先生
(老人保健施設創生園 理事長)
共 催：石本商事株式会社

セミナー7

「リハビリテーション入門
(実技のコツと理論)」

講演者：土肥 信之 先生
(兵庫医療大学リハビリテーション学部長 教授)
座 長：岡田 守功 先生
(老人保健施設みづ里 理事長)
共 催：株式会社渡辺リネン

セミナー8

「介護施設職員のメンタルヘルス」

講演者：染矢 俊幸 先生
(新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野 教授)
座 長：佐野 英孝 先生
(白根緑ヶ丘病院 院長)
共 催：日本イーライリリー株式会社

7月24日(金)

・・・第3日目・・・

13:00~14:30 パネルディスカッション2 会場:朱鷺メッセ1階 展示ホールA

パネル
ディスカッション

「老人保健施設におけるリハビリテーションはどうあるべきか—現状と展望—」

座長:鳥羽 研二 先生 (杏林大学医学部高齢医学教授・もの忘れセンター長)

パネリスト:米満 弘之 先生 (介護老人保健施設清雅苑 理事長)

全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 会長)

浜村 明徳 先生 (介護老人保健施設伸寿苑 施設長)

一般財団法人日本リハビリテーション病院・施設協会
会長)

平井 基陽 先生 (介護老人保健施設鴻池荘 理事長)

老人の専門医療を考える会 顧問)

東 憲太郎 先生 (介護老人保健施設いこいの森 理事長)

社団法人全国老人保健施設協会 常務理事)

大田 仁史 先生 (茨城県立健康プラザ 管理者)

茨城県立医療大学 名誉教授)



座長:鳥羽研二先生



パネリストの方々
(右から米満先生、浜村先生、平井先生、東先生、
大田先生)



パネルディスカッションの模様



15：00～16：00 公開講演 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

公開講演

「天地人を語る ～直江兼続の義と愛～」

講演者：火坂 雅志 先生（平成21年NHK大河ドラマ「天地人」原作者）

座長：石田 央 先生（新潟県介護老人保健施設協会 理事）



講演をする火坂雅志先生



座長：石田 央先生

大会メインプログラムの締めくくりとして、公開講演が行われました。

「天地人を語る ～直江兼続の義と愛～」と題し、新潟市出身で平成21年NHK大河ドラマ「天地人」の原作者、火坂雅志先生から講演をいただきました。

公開講演でもあり、大会参加者に加え一般市民にも会場を公開。幅広い年齢層の方々が講演に聞き入っていました。



講演終了後には、火坂先生の著書販売とサイン会も行われ、長蛇の列が続いていました。



演題発表

7月23日（木）13：00～18：00、7月24日（金）9：00～14：00の間、ポスター会場及び18の口演発表会場で演題発表が行われました。

口演発表が1,029演題、ポスター発表が143演題、合計1,172演題の発表があり、発表者は日頃のケアの取組や研究成果を緊張した面持ちで発表していました。

参加者からも質問や意見、感想なども寄せられ、活発で有意義な雰囲気でした。



朱鷺メッセ口演会場内の模様



ANAクラウンプラザホテル新潟口演会場内の模様



ホテル日航新潟口演会場内の模様



ポスター展示会場の自由見学



ポスター会場発表の模様

16:00~16:30 閉会式 会場：朱鷺メッセ1階 展示ホールA

3日間にわたる大会の締めくくりとして、閉会式が行われました。

田中政春大会会長の挨拶、主催者を代表して全老健の川合秀治会長が挨拶。平成22年11月10日~11月12日に開催される岡山大会の福嶋啓祐大会会長が挨拶を行い、大会旗が新潟県から岡山県に引き継がれました。

最後に「また元気に岡山でお会いしましょう。」と本大会が盛会裏に終了しました。



大会旗を引継ぐ田中大会会長



大会旗が次回の岡山大会 福島大会会長へ
引き継がれる



来年は岡山でお会いしましょう！



新潟の味をもりこんだお弁当で、昼のくつろぎの
ひととき



ようこそ 新潟へ



実行委員、当日スタッフ打ち合わせ

平成20年度研修報告

バリデーションセミナー伝達講習



開会挨拶 田中政春会長

日 時：平成20年12月26日（金）
会 場：新潟ユニゾンプラザ
参加施設：23施設
参加人数：41名



講師：楽山苑 笹川幸絵氏

講 義：「バリデーションへの誘い～その理論と方法～」
講 師：介護老人保健施設 楽山苑
理学療法士 笹川 幸絵 氏



閉会挨拶 松田由紀夫理事

～参加者の声～

- コミュニケーションの重要さを学びました。職場で実践していくことで、いつもと違った部分、今まで分からなく疑問に思っていた利用者様の行動や発言が分かるのではと思いました。
- 利用者様との関わりで感情に訴える、利用者様・高齢者を受け入れる大切さを学びました。
- 利用者様との接し方を考えさせられました。「嘘をつかない」「ごまかさない」など自分自身を改め、見つめ直して明日からの業務に活かしたいと思います。
- 何よりもコミュニケーションが一番重要だと感じました。

グループワーク



グループワークを行い、話し合った内容を発表しました。



平成21年度通常総会開催

平成21年度通常総会が平成21年4月22日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催された。冒頭、松田ひろし副会長が挨拶され、続いて新会員（親里・そよかぜ俱楽部）の紹介があった。その後、事務局より総会時の会員数92名のうち24名が出席（他に代理出席9名）、委任状提出会員69名で計92名となり、定足数を満たし本総会成立の報告の後、議長に清流苑の大森隆先生を選任し進められた。また、議事録署名委員にいいでの里の姉崎静記先生、グリーンヒル与板の相澤理先生が選任された。議題に入る前に報告事項として①各委員会報告②平成21年度事業計画③社団法人全国老人保健施設協会関東・甲信越ブロック代表者会報告④社団法人全国老人保健施設協会代議員会（H21.2.19）報告があり、

続いて議事に入った。第1号議案：平成20年度事業報告案及び平成20年度収支決算案に関する件、第2号議案：平成21年度収支予算補正案に関する件、第3号議案：平成21年度第20回全国介護老人保健施設大会について、第4号議案：その他について、活発な審議がなされた。第1号議案、第2号議案は原案通り議決、第3号議案は、はじめに事務局より各登録締切日の確認、参加者・当日スタッフについて現状報告、大会運営委託会社の日本旅行より大会の進捗状況の報告があった。最後に松田副会長より大会運営についての協力依頼及び本県の参加登録についての更なるお願ひと研究発表座長が不足した場合の協力依頼があった。続いて、「平成20年度新潟県介護老人保健施設大会」の表彰式が執り行われ、学術奨励賞を受賞した7施設の代表者に松田副会長より賞状が授与された。

事務局 斎藤



総会の様子



学術奨励賞
表彰式の様子



学術奨励賞
受賞者

平成20年度事務長会議



東憲太郎氏

平成20年度事務長会議が平成21年1月30日ANAクラウンプラザホテル新潟で開催された。「介護老人保健施設の適正な運営について」として、県福祉保健部より3名の方から説明をいただき、その後「平成21年度介護報酬改訂が示唆する老人保健施設運営の方向性について」と題して全国老人保健施設協会 常務理事で介護老人保健施設いこいの森（三重県）理事長 東憲太郎先生より講演していただいた。この会議には88施設114名の方から参加いただき、大変盛会な会議となった。

平成21年度介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰 平成21年度社団法人全国老人保健施設協会会长表彰



江里口淳一郎氏

本県からは好日庵の施設長 江里口淳一郎氏が厚生労働大臣表彰を受けた。また、好日庵の棲井妙子氏、堀江加奈枝氏、田巻敦子氏、柏森昌氏が会長表彰を受けた。

厚生労働大臣表彰は、「老人保健福祉に関し顕著な功績があった方」を表彰するもの。また、会長表彰は「全老健の進展と資質の向上に寄与した関係者」を表彰するもの。

第19回全国介護老人保健施設大会京都 演題発表 奨励賞

平成20年8月27日～29日に開催された標記大会で、本県からマザリー三条、てらどまり、樂山苑が奨励賞を受賞した。

介護老人保健施設マザリー三条

『老健における看護師意識について～意識調査から見えてきたもの～』

介護老人保健施設てらどまり

『「安全運転でご自宅までお送りいたします」～通所リハビリでの安全運転宣言マニュアルの取り組み～』

介護老人保健施設樂山苑

『歩く喜びをもう一度「歩くのはおもしれえ」～手引き歩行に向けての取り組み～』

以上、授賞式は平成21年7月23日、第20回全国介護老人保健施設大会新潟開会式にて行われた。

（演題発表の奨励賞は紙面発表のみ。賞状は後日全国老人保健施設協会より郵送にて授与された。）

平成21年度事業計画

会議

- (1)通常総会 会則第11条の規定に基づき年1回開催する。
- (2)役員会 必要に応じて開催する。

委員会

- 【学術研修委員会】年6回程度必要に応じ開催し、研修会等の実施について具体的な事項を検討する。
- 【広報委員会】年6回程度必要に応じ開催し、機関誌の編集・立案、及び協会ホームページの管理・運営について検討する。
- 【トラブル防止検討委員会】事故・トラブルの未然防止を主目的とした研究をする。
- 【事務長会】実務的な問題事項を検討し、必要に応じ事務長会議を開催する。

施設運営アンケート調査の実施

必要に応じて実施する。

機関誌の発行

機関誌「老健にいがた」第26号・第27号の発行

研修事業

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| ・介護報酬改定説明会 | 平成21年5月13日(水) | 朱鷺メッセ |
| ・介護支援専門員養成講座 | 平成21年9月9日(水) | 高齢者総合福祉相談センター福住 |
| ・高齢者のリハビリテーション | 平成21年10月29日(木) | アトリウム長岡 |
| ・現場ですぐできる実践講座 | 平成21年11月12日(木) | 新潟ユニゾンプラザ |
| ・ターミナルケア研修会 | 平成22年1月21日(木) | 新潟ユニゾンプラザ |

第20回全国介護老人保健施設大会新潟の実施

・平成21年7月22日(水)～24日(金)朱鷺メッセ・ホテル日航新潟・ANAクラウンプラザホテル新潟

全老健 第31回通常代議員会報告

代議員：石田 央
介護老人保健施設 越南苑

全国老人保健施設協会の第31回通常代議員会が平成21年2月19日グランドプリンスホテル高輪で開催されました。新潟県からは松田ひろし、石田央両代議員が出席しました。内容等につきましては下記に報告いたします。

1) 議題 ①平成21年度事業計画案について

- ②平成21年度収支予算について
- ③公益法人改革について
- ④次期（第11期）役員改選について（川合会長以下主な役員は留任となった）

が上呈され了承された。③の公益法人改革については引き続き公益法人への移行を目指して進む方向性が示され了承された。

2) 協議事項 ①介護報酬改定について（執行部は介護報酬の引き上げに努力するという内容である）

3) 承認事項 ①平成20年度事業計画の一部変更について（調査研究事業の一部変更） ②平成20年度収支補正予算について

承認された。

4) 報告事項 ①第20回介護老人保健施設大会新潟について

（田中政春 大会会長が進捗状況等について報告された）

②第21回全国老人保健施設大会岡山について

（福島啓祐 大会会長報告がテーマ等について報告された）

③平成20年12月31日現在加入状況（正会員3,330、加入率93.4%）

④各都道府県支部一覧及び代議員名簿について

（新潟県は平成21年度より代議員数が1名ふえて3名になります）

全老健 第32回通常代議員会・第24回通常総会報告

代議員：松田 ひろし
介護老人保健施設 米山爽風苑

第32回通常代議員会及び第24回通常総会が、去る6月18日東京プリンスホテル（高輪）で開催された。まず代議員会に先立ち、厚生労働省老健局 鈴木康裕 老人保健課長より「平成24年度診療報酬改定・介護報酬改定の基本姿勢について」と題して講演があり、平成24年3月に大改定をすることにするが、その前にしっかりと老健でエビデンスを積み上げていって欲しいと話された。

代議員会では平成20年度事業報告及び平成20年度収支決算について議案が提出され、審議のうちに可決、承認された。次に、第20回全国介護老人保健施設大会 新潟の大会長である当県支部長 田中政春 先生より、大会案内及び準備状況についての報告が行われた。

引き続き第24回通常総会が行われ、代議員会と同じく全ての議案が承認された。

昨年の166万人の署名により、職員の処遇改善が大きくマスコミでも取り上げられたが、今後の具体的な報酬改定については、利用者側にその負担を強いる方向での改定が国で検討されているのみとの執行部からの報告を聞き、国の考えに現場にいる一人として大いに違和感を憶えた。

老健とわたし

様々な職種の職員が、それぞれの専門性を生かしながら施設を支えています。その職員の声と人柄をお届けします。



晴和会上所園
通所リハビリテーション
介護職員
穴澤はつ美

- ①三条市
- ②利用者様の笑顔が見られること
- ③サッカー観戦
- ④散歩・外に出る!!
- ⑤入社して半年ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。これからも、利用者様の笑顔が見られるように、自分も笑顔で頑張っていきます。



しんあい園
看護師・介護支援専門員
金子佐知子

- ①新潟市（旧新津市）
- ②病院併設で移動になってから早11年。たくさんの笑顔に支えられています。
- ③フォトムービー作り ゴルフ
- ④子供のミニバスの応援で大声を出して発散しています。
- ⑤毎日、汗だくになりながら仕事しています。いろんな事がありますが、利用者様・スタッフがいつも笑っていられる施設をめざし頑張っていきたいと思います。



白根ヴィラガーデン
支援相談員(介護福祉士)
大屋亜沙美

- ①三条市（旧下田村）
- ②利用者様や御家族の「ホッ」と安心された表情・笑顔を見ることができた時
- ③旅行
- ④友達といっぱい話しをする。家のそうじ
- ⑤相談員の仕事に就いてまだ1年足らず。まだまだわからないことがたくさんで日々奮闘しています。介護現場での経験を活かし、もっともっと成長していきたいです。ヴィラガーデンは職員の笑顔がとっても素敵です。是非一度のぞきに来て下さい!!

質問内容

- ①出身地
- ②この仕事を選んでよかったです
- ③趣味
- ④私のストレス解消法
- ⑤メッセージ



すこやか両津
調理員
岩見公明
いわみただあき

- ①佐渡市
- ②入所者が「おいしかったよ！」と言ってくれるとき
- ③音楽鑑賞（洋楽ロック系）、磯釣り（クロダイ、マダイ等）
- ④釣りに行くこと、仲間とお酒を飲むこと
- ⑤レストランのようなわけにはいきませんが、限られたなかで工夫し、おいしい食事を提供できるように、スタッフみんなで協力していきたいと思います。



水仙の家
介護福祉士
和田勇氣
わだ ゆうき

- ①新潟県小千谷市
- ②利用者様に「ありがとう」と言っていただいた時、選んで良かったと思います。
- ③釣り
- ④カラオケ
- ⑤介護は直接利用者様と関わりを持てるので、やりがいのある仕事だと思います。また、利用者様は人生の大先輩に当たる方々なので、日々の何気ない会話から勉強になることが多くあり、毎日充実しています。



健やか園
介護支援専門員
神沢秋夫

- ①新潟市
- ②住宅復帰をされた利用者が、生き生きとした姿でご自宅で生活をされている様子を見たり、聞いたりしたとき。
- ③ジョギング
- ④庭の草取り
- ⑤最近、認知症ケアについての話を聞く機会が多くなりました。皆さんはどのようなケアプランを作成し、関わっていますか。奥が深く、難しいですが、頑張っていきたいと思っています。



ひ

な

の
広
場

○すこやか両津『父の日』

職員の下絵に合わせ、入所者が紙をはり、「はり絵」を作成しました。毎回、季節を感じるテーマを選んでいますが、今回は「父の日」です。楽しかった思い出がよみがえってくるような作品に、みんなの顔がほころびます。



○白根ヴィラガーデン『やさいづくり』

利用者様と職員で夏野菜を作っています。利用者様の中には農業経験者も多く農作業の方法を職員が教わりながら一緒に行っています。昨年はゴーヤとミニトマトをたくさん収穫できました。今年は、なす、きゅうり、トマトを栽培中。もうじき収穫です。



○水仙の家

毎年11月に『健生祭』という文化祭で、日々のレクリエーション活動で作り上げた個人作品や各療養棟毎にテーマを決めた合同作品を展示します。ご家族との会食もあり楽しい秋の日を過ごします。



○健やか園『だるま』

文化祭に向け作成しました。プラスチック容器に粘土で形を作り、その上に折り紙を貼りました。ポイントは顔の表情です。目の部分はマジックで書き入れることにより、作成した利用者様らしい作品に仕上りました。



○晴和会上所園『トキ』

利用者様とアイデアを出し合いたきの貼り絵を作りました。トキに似せようと、羽根の部分にはお花紙をフワフワとさせ、頭部にススキの穂を貼っています。昨年の作品展では一番の注目作品となりました。



○しんあい園

『デイケアギャラリー』

6月、通所リハビリでは利用者様の作品や昔の趣味などを展示するギャラリーを開設。看板のデザインなどアイデアを出し合って準備を進め、式典ではテープカットで盛大にお祝いしました。今後の展示に乞うご期待♪



編集後記

去る7月22日～24日の3日間、当地新潟において第20回全国介護老人保健施設大会新潟が盛会裏の内に幕を閉じました。期間中は天候にも恵まれ、全国各地から私たちの仲間が参考集し、ご利用者のケアについて真摯に取組む姿勢を感じ、前向きに頑張ろうという元気をもらいました。

開催1年前から実行委員会が組織され、準備が進められました。新潟ならではの、おもてなしをするために何度も話し合い、各施設の様々な職種の委員が集い、まさに多職種協働で作り上げた大会であったと感じています。

参加された方は、全国の老健施設職員のほんの一部に過ぎません。参加できず、現場でご利用者のケアに専念されていた仲間がいたからこそ、参加者や実行委員が安心して大会に参加できたものと思います。参加できなかった方にも、少しでも大会の雰囲気を分かち合いたく、今号の特集として大会の模様を掲載しました。その思いも含めご覧頂けますと幸いです。

(広報委員 高橋宜良)

新潟県介護老人保健施設協会広報誌 「老健にいがた」 第26号

編集・発行：新潟県介護老人保健施設協会
広報委員会

〒940-2301 新潟県長岡市宮沢327番地1
介護老人保健施設樂山苑内

TEL (0258) 42-3500

FAX (0258) 42-3900

印刷 吉原印刷株式会社